

## ～ スマイルマップ事業 ～

“smile よどがわ”として親しまれている市場の組合が、専門店ならではの特色を前面に押し出したガイドマップをカレンダー様式で作成。身近な市場の良さを知ってもらうとともに新規顧客獲得のためのイベント等を実施し、リピート客増加を目指した。

所在地：大阪府大阪市淀川区宮原2-5-12  
TEL・FAX：06-6391-0633  
URL：—  
組合員数：15名  
商店街の類型：近隣型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

JR東淀川駅西口に位置する市場の協同組合で、「活性化市場」として設立して14年。小売市場ならではの新鮮な生鮮三品、衣料品、和菓子等地域の日常の暮らしに密着した業種13店舗で構成されている。従来の販売促進活動としてはチラシ広告と抽選会等を実施してきたが、なかなか売上に結びつかなかったことから、今回、市場が一体となって新たな販売促進活動を試みた。具体的には、主要顧客の高齢化や近隣への相次ぐ大型スーパーの進出により来街者や売上の減少が大きな課題となっているなかで、地域の人々により市場・店舗を知ってもらうためのガイドマップの作成とイベント等を実施した。

## 実施した事業の概要

## ①スマイルマップ事業

組合として初めて作成した店舗案内のガイドマップは、市場のラインナップやおすすめ商品、販売員など単なる店舗紹介にとどまらない小冊子とし、紹介店舗と月別カレンダーとを組み合わせたページ構成などの工夫を施した。スマイルマップの認知を広めるために、同マップに記載したスタンプカードを持参した顧客に、各店がスタンプを捺印した個数に応じて各種金券を進呈するスマイルキャンペーンを20日間に亘って実施した。



## ②スマイルマップ配布イベント

スマイルキャンペーンの初日には、吉本お笑いタレントのトークショーとスタンプラリーを実施した。トークショーでは市場とマップをネタに3,000名を超える集客を実現し、スマイルマップの認知度を一層高めることができた。スタンプラリーでは来場者の多くが全店制覇を目指して回ってくれたことから、個店主と来店者とのコミュニケーションが図られ、認知度も一段と向上した。

## 成果と成功の要因



各店舗におけるマップの陳列・配布と、イベントの実施、さらには日常の買物の場で店主が直接商品の説明をする市場ならではの販売スタイルでリピーターが増え、市場に活気が戻った。

今回の事業は、危機感をバネに若手経営者や女性陣が中心に企画、運営に当たるなど市場全体が一体となって取り組んだ。また地域の自治会、老人ホーム、青少年センターなどの協力が成功の大きな要因であったと考える。

## 今後の取り組み

今回の事業を通じて得られたノウハウを活用し、従来のような品名と値段だけのチラシではなく、様々な情報を盛り込んだ四季折々のチラシ等で積極的な販売促進を行い、市場の集客力の向上を図っていく。特に市場全体が一体となって取り組み存在をアピールして行きたい。資金の手当てとしては、毎月徴収する賦課金を充当するとともに、自治体からの支援を受けながら進めることも視野に入れている。